

飛騨農林事務所の普及活動状況（令和5年8月31日現在）

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■農福連携 ほうれんそう調製施設で障がい者の作業体験を実施

8月8日、農福連携の推進を目的とし、障がい者農業体験講座が実施され、生産者や関係者ら29名が参加した。

高山市のほうれんそう生産者の調製施設において、福祉事業所職員5名及び施設利用者8名が作業を体験し、生産者と意見を交換した。

福祉事業所側から「より細かく作業を分割すると、障がい者の方が作業しやすい」などの意見をいただき、新たな視点で、障がい者の方が取り組みやすい作業体系へと見直す契機となった。

農業普及課では、関係機関と連携しながら農福連携を推進し、農業における労働力確保対策に努めていく。



【作業の説明を受ける参加者】

■ほうれんそう部会 若菜会の現地研修会

8月30日、高山市丹生川町にて、飛騨蔬菜出荷組合ほうれんそう部会若菜会による現地研修会が行われた。若菜会はほうれんそうの若い担い手のグループで、会員11名を含む20名が参加し、丹生川地域の生産者2名のほ場および調製場を見学した。

遮光の期間や灌水の量やタイミング、堆肥の施用時期など、さまざまな質問が飛び交い、会員同士が議論し知識を深めた。

農業普及課では、今後もJAひだと連携しながら飛騨蔬菜出荷組合ほうれんそう部会若菜会の活動を支援し、担い手の育成につなげていく。



【若い担い手同士が見学】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■水稻 採種ほ場の審査を実施

丹生川採種組合では「ひとめぼれ」、「たかやまもち」、「コシヒカリ」、「ひだほまれ」、「はなの舞い」の水稻5品種の種子と「ひとめぼれ」の原種（種子生産用の種子）を栽培し、次年度の種子として供給している。

7月下旬～8月下旬、普及指導員を中心に、JA職員や採種組合員らと協力し、採種ほ場1枚1枚に入り、異品種や雑草・病害の有無等を審査した。

農業普及課では、次年度に高品質な種子を供給するため、適期収穫に向け指導を行うとともに、収穫後に発芽率等の品質確認を行う。



【ほ場内を審査】

■水稻 スマート農業技術の実演会を開催

農業普及課は今年度からコンソーシアムの一員として国の「戦略的スマート農業技術の実証・実装」事業に参画している。

1年目の今年は、土地改良後の大区画ほ場で、スマート農業技術による栽培管理に豚ふんペレットの利用を組み合わせ、水稻・大豆を栽培している。

8月25日、スマート農業技術の実演会を開催した。現地では、ロボットトラクタとレーザーレベラによる整地作業、センシングドローンの生育診断を踏まえた散布用ドローンによるピンポイント施肥を実演した。農業者等の関心が高く、約70名が熱心に機械性能や技術体系を見学した。

今後もコンソーシアムメンバーが専門性を発揮しながら、現地実証によるデータの収集・分析や飛騨地域への波及に取り組む。



【農機メーカーが説明】

ぎふ農畜産物のブランド展開

■飛騨桃 「飛騨おとめ」の特秀品を試験的に出荷

J Aひだ果実出荷組合協議会では、岐阜県育成成品種「飛騨おとめ」のPRや有利販売、栽培面積の拡大に向け、現在の最高規格「秀」を上回る規格を検討している。仮の基準を糖度15度以上、外観品質が特に優れた果実として、高単価での販売を目指す。

今夏、新たな取組とし、厳選した果実を「特秀」と銘打ち、8月17日に岐阜市場へ2箱を試験的に出荷した。

商品は、市場担当者が中身を精査し、価格設定や必要な出荷数量、選果基準等を検討する。

この取組は来年も実施予定で、数年以内に特秀品の本格的な出荷に繋げられるよう、関係機関と連携し協議会への支援を継続する。



【特秀品を選ぶ】

■荘川だいこん 目揃え会を開催

8月16日、高山市荘川町にあるダナ高原にて、荘川だいこんの目揃え会が行われた。

ダナ高原のだいこんは標高1,200m以上の団地で栽培されているが、近年の暑さや大雨により栽培が難しくなっていることが課題となっている。

生産者は「今年は暑さにより例年発生しない虫害などが見られたが、それ以外は順調で、良いだいこんができた」と話した。

農業普及課は今後も、病害虫防除や天候にあった栽培技術指導を行い、安定的な生産物出荷について支援していく。



【高標高を活かした
だいこん畑】

■飛騨メロン 共進会を開催

飛騨メロン研究会では、13名の会員が、美しい網目模様が特徴のアールスメロンを栽培している。

8月4日、出荷の最盛期となるお盆を前に、「第39回飛騨メロン研究会共進会」が開催された。

玉の大きさや玉揃い、網目の調和、味、糖度などを審査し、最優秀賞1名と優秀賞3名が決定した。最優秀賞にはベテラン生産者が選ばれ、通算10回目の受賞を果たし実力を示した。

農業普及課では次年度の品質維持に向け、防除暦の提供など飛騨メロン研究会への支援を行っていく。



【甘く美しいメロンが並ぶ】